

総務建設委員会行政視察（岡山県笠岡市）報告書

総務建設委員会
委員長 早川公二

視 察 名	弥富市議会総務建設委員会行政視察
日 時	令和8年1月23日（金）
視 察 先	岡山県笠岡市役所
視 察 項 目	産業振興施策（産業振興ビジョン）
視察参加者	議会委員 7名 早川公二、板倉克典、堀岡敏喜、平野広行、 江崎貴大、柴田英里、伊藤千春、 事務局 1名
特 記 事 項	当初は、1月22日（木）兵庫県三木市へ「ヤード条例」に関する取組みを視察する計画で、事前に庁内ヒアリングを実施し事前質問を送付し、現地視察を迎える準備を進めていましたが、視察前日より日本列島に大寒波が襲来し地域によっては、顕著な降雪、積雪が予想され、鉄道は、計画運休や大幅な遅延を周知する報道がなされました。 このことを踏まえ、三木市及び笠岡市と協議し、三木市への現地視察は取りやめることとしました。 なお、事前質問の回答書並びに当日の視察資料を受領し、これにより委員間で協議をしました。

岡山県笠岡市の概要

笠岡市は、岡山県南西部の瀬戸内海側に位置し、西は広島県福山市に隣接しており、市域面積は136.07 km²あり、本市（48.28 km²）の約2.8倍の土地を有しており、市の南側は瀬戸内海に面する点は、本市が伊勢湾に面している点と類似しています。

一方で、笠岡市域には、大小の島しょ部を併せ持つという地理的特性があります。

周辺に目を向けると、（広島県）福山市・倉敷市という中核市に挟まれ、井笠地域3市2町（笠岡市・井原市・浅口市・里庄町・矢掛町）を加えた総人口150万人を超えるエリアのほぼ中央に位置し、各中核市を中心とした連携中枢都市圏に構成自治体として参画しています。

本市が名古屋市に近接する立地条件とは大きく異なる点であると言えます。

交通インフラでは、西日本国土軸上に位置し、中国地方の東西軸をなす山陽自動車

道とJR山陽本線等による、広域交流機能が形成されており、岡山・倉敷都市圏や福山地方拠点都市地域との東西連携も活発となっています。

笠岡市の人口は、平成7年以降減少が続き、令和7年時点では43,028人で、本市の同時期人口が43,420人であり、ほぼ同規模の自治体です。

笠岡市視察目的

本委員会では、「産業振興」に対する政策を市へ提言するため、これまで他の自治体への視察並びに調査を行ってきた結果等を分析し、本市の産業振興に対する課題解決に必要なことの1つに、本市には、明確な「指針」（ビジョン）が無い点に着目し、本市においても「指針」が必要であると考え、笠岡市の「産業振興ビジョン」の取組みを調査することとしました。

笠岡市視察概要

令和8年1月23日（金）午前9時30分より、岡山県笠岡市議会棟協議会室にて委員7名、笠岡市から説明員3名により実施しました。

会場の議会棟は明治32年建築という説明に驚きの中、視察テーマである「産業振興ビジョン」の説明に続き事前質問に対する回答がありました。

それらを踏まえ、各委員より再質問や更なる説明を求める視察でした。

なお、詳細は以下の所感に明記します。

笠岡市視察所感

笠岡市は、干拓地を活かした農業振興や観光施策、そして中小企業支援や企業誘致を柱とする体系的な産業振興ビジョンを策定し、組織的・計画的に取り組んでいることが特徴である。人口や財政規模においても弥富市と近いことから、同様の課題認識と向き合っている自治体として、比較対象として有益な視察先であった。

笠岡市では、産業振興課と商工観光課を分けて設置しており、これは単なる組織論にとどまらず、「観光産業」と「商工業振興」を異なる軸として捉える政策的判断に基づくものである。特に、農業や畜産、露地野菜などの地場産業を観光資源として位置付け、観光農業としてブランド化を図ることで、年間100万人を超える観光客を呼び込むに至っている。

また、干拓地や自然景観を活かす中での企業誘致や創業支援には、弥富市とは異なる制約もあり、それゆえにビジョンの3本柱（①企業誘致、②地元中小企業支援、③観光振興）の間においてバランスを取りながら制度設計を行っている点は非常に示唆に

富んでいる。

一方で、委員の所感では、笠岡市においても人材不足や後継者不足など、弥富市と共通する課題が存在することも明らかになった。これらの課題に対して、地元事業者と連携しつつ、商工会議所や関係団体とのネットワークを活用している点も注目される。

また、観光と産業振興を切り離して考えることで、それぞれの課題に深く対応できるようにしている姿勢や、広域連携を視野に入れた施策展開にも学ぶべき点が多い。

今回の視察を通じ、弥富市の産業振興を推進するうえでの課題、体系的な振興ビジョンの必要性、「観光」や「農業」の資源化に対する政策的整理、市内事業者への支援施策の再構築、

組織体制の見直し（産業振興課と観光等の明確な役割分担）、外部連携を前提とした支援スキームの整備などが明確となった。

今後、本委員会においては、これまでのアンケート結果、現状把握、菊川市・笠岡市の視察成果を踏まえた提言書の作成に取り組み、弥富市の実情に即した産業振興施策の実現を目指していく。



【岡山県笠岡市議場】 議会棟は明治32年建築